

否定と肯定 (2016)

DENIAL

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス 伝記

製作国 イギリス/アメリカ

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2017/12/08

公開情報 ツイン

映倫 G

【キャッチコピー】

ホロコースト、信念の法廷が今始まった。

【解説】

ある日突然ホロコースト否定論者との法廷闘争に巻き込まれ、ホロコーストを巡る歴史の歪曲を許しかねない世界が注目する裁判の当事者となってしまったユダヤ人歴史学者デボラ・E・リップシュタットの回顧録をレイチェル・ワイズ主演で映画化した実録法廷サスペンス。共演はトム・ウィルキンソン、ティモシー・スポール。監督は「ボディガード」「L.A.ストーリー／恋が降る街」のミック・ジャクソン。

1996年、アメリカの大学で教鞭を執るユダヤ人歴史学者デボラ・E・リップシュタットは、自身の著書で非難したホロコースト否定論者のデイヴィッド・アーヴィングから名誉毀損の訴えを起こされる。悩んだ末に裁判で争うことを決めたリップシュタット。しかし裁判の舞台となるイギリスの法廷では、訴えられた側が立証責任を負うとされ、たとえアーヴィングの主張がどんなに荒唐無稽であっても、裁判で勝利することは決して容易なことではなかった。そんな中リップシュタットは、法廷弁護士リチャード・ランプトンをリーダーとする弁護団からホロコースト生存者ばかりか彼女自身にも証言しないよう求められてしまう。それは自らホロコーストの真実を証明したいと意気込むリップシュタットにとって到底納得できるものではなかったが…。

【クレジット】

| | | |
|-----------------|-----------------|---------------------|
| 監督 | ミック・ジャクソン | Mick Jackson |
| 製作 | ゲイリー・フォスター | Gary Foster |
| | ラス・クラスノフ | Russ Krasnoff |
| 製作総指揮 | ジェフ・スコール | Jeff Skoll |
| | ジョナサン・キング | Jonathan King |
| | クリスティーン・ランガン | Christine Langan |
| | ジョー・オッペンハイマー | Joe Oppenheimer |
| | アンドリュー・カーペン | Andrew Karpen |
| | ガイ・ヒーリー | Guy Heeley |
| 原作 | デボラ・E・リップシュタット | Deborah E. Lipstadt |
| 脚本 | デヴィッド・ヘア | David Hare |
| 撮影 | ハリス・ザンバーラウコス | Haris Zambarloukos |
| プロダクション デザイン | アンドリュー・マッカルパイン | Andrew McAlpine |
| 衣装デザイン | オディール・ディックス＝ミロー | Odile Dicks-Mireaux |

編集
音楽
出演

| | | |
|--------------|------------------|----------------|
| ジャスティン・ライト | Justine Wright | |
| ハワード・ショア | Howard Shore | |
| レイチェル・ワイズ | Rachel Weisz | デボラ・E・リップシュタット |
| トム・ウィルキンソン | Tom Wilkinson | リチャード・ランプトン |
| ティモシー・スポール | Timothy Spall | デイヴィッド・アーヴィング |
| アンドリュー・スコット | Andrew Scott | アンソニー・ジュリアス |
| ジャック・ロウデン | Jack Lowden | ジェームズ・リブソン |
| カレン・ピストリアス | Caren Pistorius | ローラ・タイラー |
| アレックス・ジェニングス | Alex Jennings | サー・チャールズ・グレイ |
| ハリエット・ウォルター | Harriet Walter | ヴェラ |
| マーク・ゲイティス | Mark Gatiss | ヴァン・ペルト教授 |
| ジョン・セッションズ | John Sessions | エヴァンス教授 |
| ニキ・アムカ=バード | Nikki Amuka-Bird | リビー・ホルブルック |